

# 002-15

## 風速監視装置システム

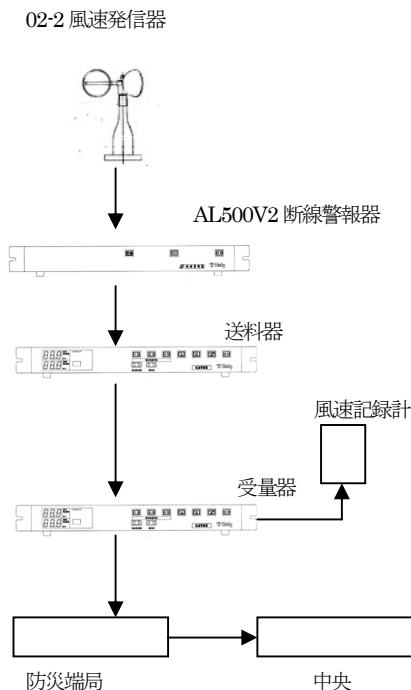


本装置は、発電式の風速発信器から風速に比例した周波数信号を受けて、その風速値を瞬時にデジタル化すると共に、予め設定した風速警報を表示器及びブザーにてパネル表示し、更にその情報をリレー接点により外部出力します。  
また最大風速値を一定時間保持しますので、駅とのコミュニケーションが確実に行えます。

外部デジタル出力もパラレルポート（2系統）とRS232Cシリアルポートを備えていますのでコンピュータとの接続や状態監視装置、及び防災端局と接続可能です。  
長距離モデム伝送によりデータを遠隔地にて監視可能です。



### 系統図



#### 機器構成

センサー部：三杯風速発信器

送量器 002-15T

風速発信器からの周波数信号を受け、その風速値をデジタルの風速値に変換した後、受量器へ送ります。

受量器 002-15R

送量器からの信号を受信し、復調して警報表示します。又、最大風速値を一定時間保持しますので情報の保持と確認が出来ます。

測定範囲：1.0m/s ～60.0m/s

瞬間風速表示：現在の風速をデジタル表示3桁

最大風速値保持表示：最大風速値保持デジタル表示3桁

保持時間：2分又/5分間

限定風速警報：15,20,25m/s 又は 20,25,30m/s の切替式

LED ランプ表示/ブザー鳴動

タイマー付警報：15/30分

デジタル出力：8bit パラレル出力(ストロープ付BCD)

8bit シリアル RS-232C(1200bps)

電源：AC100V±10%、又はDC24,48V±10%